

## 営業の概況（ほくほくフィナンシャルグループ）

当社における当連結会計年度の業績につきましては、連結経常収益は前連結会計年度比12億円増加し2,422億円、連結経常利益は前連結会計年度比217億円増加し700億円、連結当期純利益は前連結会計

年度比138億円増加し406億円となりました。

この結果、連結自己資本比率は前連結会計年度末比1.44%上昇し10.44%となりました。

### ほくほくフィナンシャルグループ(連結) 経営指標

(単位:百万円)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
連結経常収益	179,445	203,200	240,986	242,268
連結経常利益	7,074	27,226	48,285	70,017
連結当期純利益	5,031	11,248	26,837	40,642
連結純資産額	193,692	380,750	406,014	492,348
連結総資産額	5,675,209	9,398,673	9,535,627	9,638,142
1株当たり純資産額	119.86円	159.75円	179.37円	227.57円
1株当たり当期純利益	3.94円	6.86円	18.31円	27.93円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	3.55円	5.67円	14.32円	23.05円
連結自己資本比率(第二基準)	8.20%	8.33%	9.00%	10.44%
連結自己資本利益率	3.53%	4.88%	10.72%	13.57%
連結株価収益率	43.15倍	47.37倍	28.23倍	14.53倍

## 営業の概況（2行合算+分割子会社）

### ■ 預金・貸出金

預金につきましては、個人預金の増加を主因に、前期末比2,182億円増加し、8兆4,346億円となりました。

貸出金につきましても、住宅系ローンを中心に個人ローンが順調に推移し、前期末比1,334億円増加し、6兆8,397億円となりました。

### ■ 損益状況

銀行の本来業務の収益力を表すコア業務純益は、預金金利の上昇が先行したことから資金利益は減少したものの、投資信託・保険手数料を中心に役員取引等利益が増加したこと、経費削減に努めたことから、前期比16億円増加の938億円と2期連続で過去最高となりました。

不良債権処理額は、企業業績の回復基調を受け、大型倒産や不良債権の新規発生が減少したこと、さらには、お取引先の経営改善が進み債務者区分が上昇したこと等により、前期比221億円減少し256億円となりました。

この結果、経常利益は前期比198億円増加し704億円、当期純利益は前期比106億円増加し397億円となりました。

### ■ 配当政策

当社は、傘下の銀行等グループ企業の事業の公共性を鑑み、長期にわたる経営基盤の確保に努め、安定的な配当を行うことを基本方針としております。当事業年度の業績を勘案するとともに、公的資金返済を展望し、経営体質の改善・強化のため内部留保の蓄積にも意を用い、18年度の期末配当につきましては、各種優先株式につきましては所定の配当とし、第1回第1種優先株式は1株当たり3円85銭、第1回第4種優先株式は1株当たり3円31銭、第1回第5種優先株式は1株当たり7円50銭、普通株式につきましては前期比50銭増配し1株当たり2円とさせていただきます。

なお、次期以降につきましても、上記の基本方針に則り、適切な利益配分を行ってまいります。

## 北陸銀行・北海道銀行(2行合算+分割子会社) 経営指標の推移

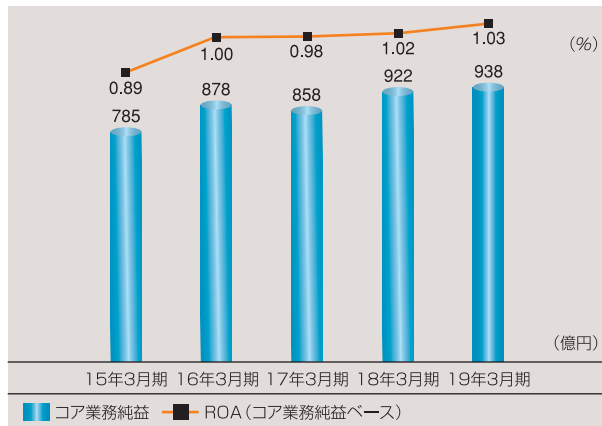
(単位:億円)

	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期
コア業務粗利益	1,705	1,765	1,750	1,808	1,818
コア業務純益	785	878	858	922	938
経常利益	△ 467	173	341	505	704
当期純利益	△ 523	157	152	290	397

※コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券関係損益等

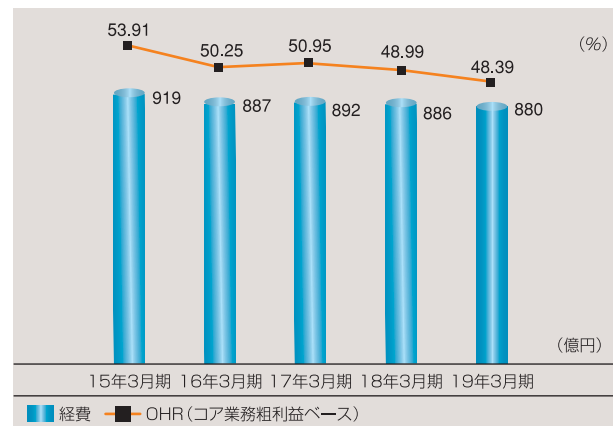
※コア業務純益=コア業務粗利益-経費

### コア業務純益の推移



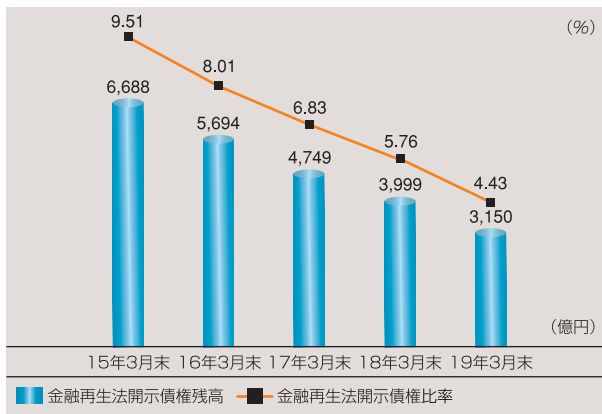
※ROA(コア業務純益ベース) =  $\frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残}-\text{支払承諾見返平残}}$

### 経費の推移

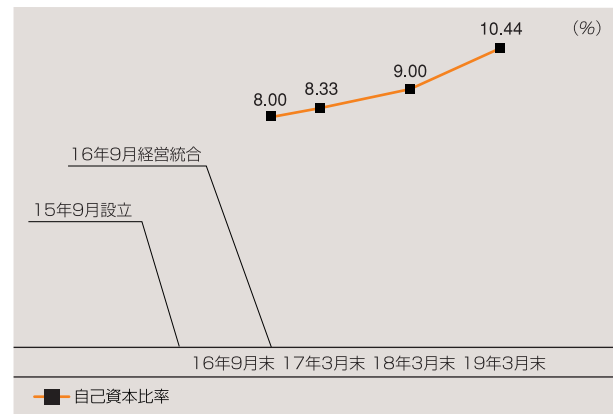


※OHR(コア業務粗利益ベース) =  $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

### 不良債権の状況



### 自己資本比率の推移 (FG連結)



※平成19年3月から自己資本比率算出について新しい基準(パーゼルII)を適用しております。平成18年3月以前は旧基準により算出しております。

### 経営合理化の進捗状況(4社合算ベース:持株会社+北陸銀行+北海道銀行+分割子会社)

店舗・人員配置や組織の見直しなど経営資源の効果的な配分と、業務のアウトソーシングや提携戦略の展開による合理化・効率化を進めてまいりました。

	15年3月末	16年3月末	17年3月末	18年3月末	19年3月末
国内支店数(注1)	262ヵ店	255ヵ店	249ヵ店	247ヵ店	246ヵ店
従業員数(注2)	5,347人	4,832人	4,506人	4,294人	4,289人
人件費(注3)	434億円	405億円	402億円	403億円	398億円
物件費	432億円	434億円	433億円	428億円	427億円
人件費+物件費	867億円	840億円	835億円	832億円	826億円

(注1) 出張所、外為集中店、ローン専用ダイレクト支店、払込専門支店、共同利用ATM管理専門支店を除く。

(注2) 事務職員、庶務職員合算。在籍出向者を含む。嘱託、パート、派遣社員は除く。

(注3) 持株会社から子銀行に支払う出向社員事務協力費を含む。

# 業績ハイライト

## 北陸銀行(十分割子会社)

コア業務純益は、前期比13億円増加し、過去最高の565億円となりました。預金金利の上昇が先行したことから、資金利益は減少いたしました。お客さまのニーズにお応えする投信・保険等の販売増加により、役務取引等利益は増加いたしました。経費につきましても引き続き節減に努めました。

不良債権処理額は、新規発生の減少、事業再生支援への積極的な取り組みにより前期比127億円減少し220億円となりました。

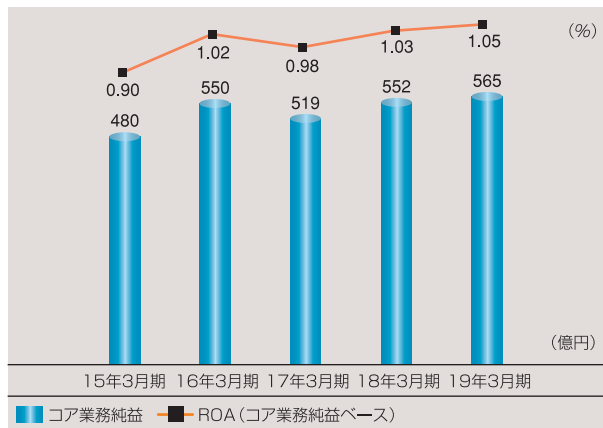
以上の結果、経常利益は、前期比117億円増加し385億円、当期純利益は、前期比33億円増加し189億円となりました。

## 経営指標の推移

	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期
コア業務粗利益	1,013	1,070	1,036	1,061	1,071
コア業務純益	480	550	519	552	565
経常利益	95	65	168	267	385
当期純利益	27	49	41	156	189

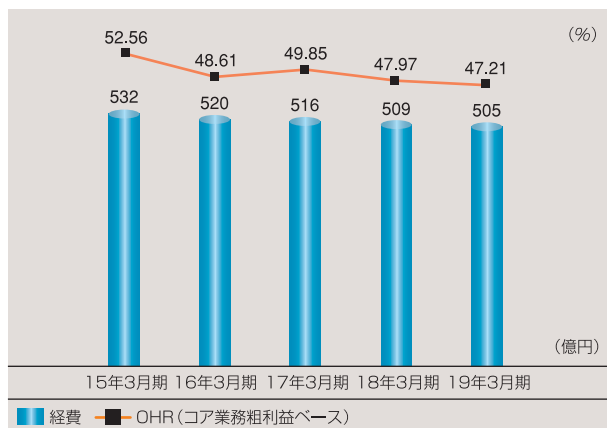
※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益等  
 ※コア業務純益＝コア業務粗利益－経費

## コア業務純益の推移



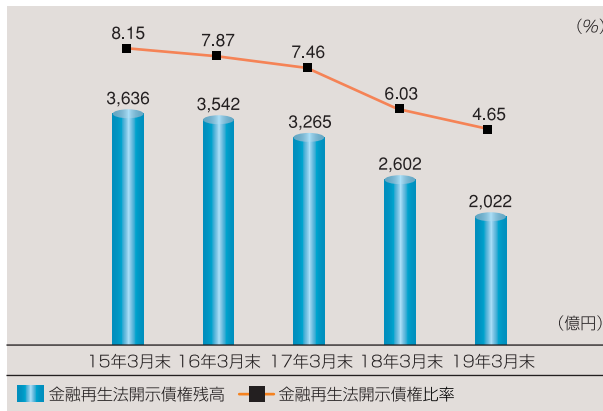
※ROA(コア業務純益ベース) =  $\frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残} - \text{支払承諾見返平残}}$

## 経費の推移

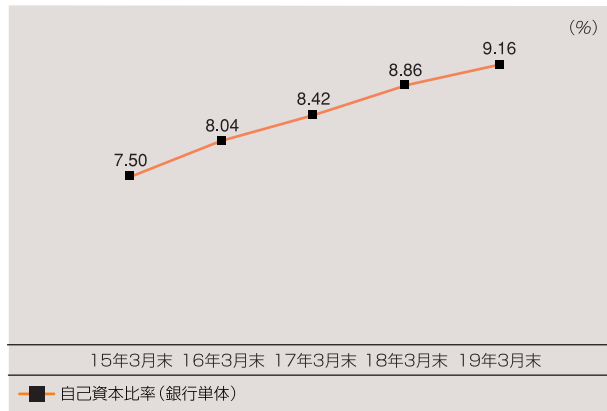


※OHR(コア業務粗利益ベース) =  $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

## 不良債権の状況



## 自己資本比率の推移



※平成19年3月から自己資本比率算出について新しい基準(バーゼルII)を適用しております。平成18年3月以前は旧基準により算出してあります。

## 北海道銀行

コア業務純益は、前期比2億円増加し、過去最高の372億円となりました。預金金利の上昇が先行したことから、資金利益は減少いたしました。お客さまのニーズにお応えする投信・保険等の販売増加により、役員取引等利益は増加いたしました。経費につきましても引き続き節減に努めました。

不良債権処理額は、新規発生の減少、事業再生支援への積極的な取り組みにより、前期比93億円減少し36億円となりました。

以上の結果、経常利益は、前期比81億円増加し319億円、当期純利益は、前期比72億円増加し207億円となりました。

## 経営指標の推移

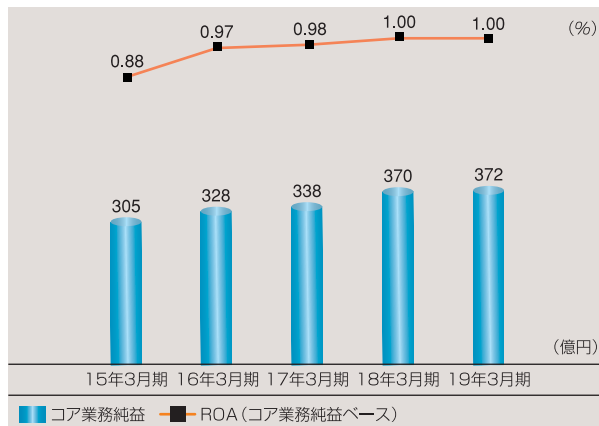
(単位:億円)

	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期
コア業務粗利益	691	694	713	747	747
コア業務純益	305	328	338	370	372
経常利益	△ 563	107	173	238	319
当期純利益	△ 550	108	111	134	207

※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益等

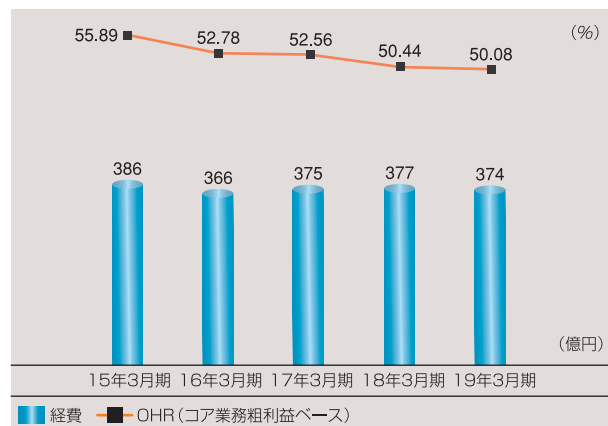
※コア業務純益＝コア業務粗利益－経費

## コア業務純益の推移



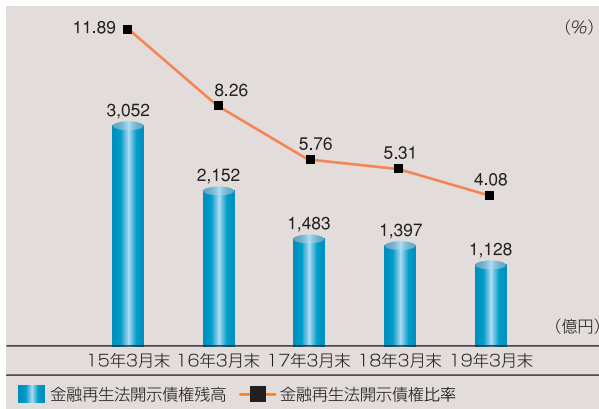
※ROA (コア業務純益ベース) =  $\frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残} - \text{支払承諾見返平残}}$

## 経費の推移

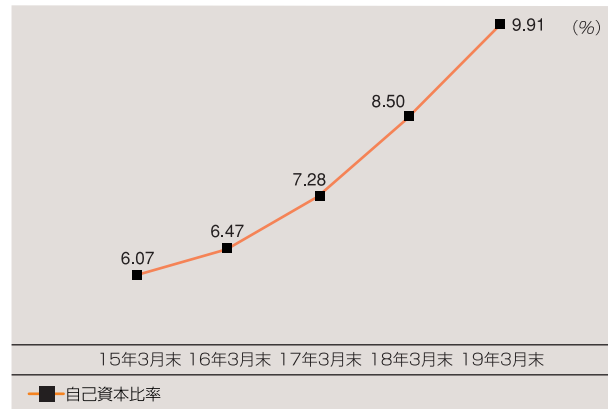


※OHR (コア業務粗利益ベース) =  $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

## 不良債権の状況



## 自己資本比率の推移



※平成19年3月から自己資本比率算出について新しい基準(バーゼルⅡ)を適用しております。平成18年3月以前は旧基準により算出しております。